



由良町

こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0282

2011.8.1
NO. 91



畑小学校

みんなの春の運動会

質

問

大震災について町民へのメッセージを

再度検討して早急に取組む



藤田 富三 議員

問 今回は、災害対策についてのメッセージをお聞かせ下さい。

東日本大震災が起きて3ヶ月、1日も早い復旧

復興を望まれる中で、大震災についての町長の心境と町民へのメッセージをお聞かせ下さい。

答

(町長) まず初めに被災された方々に心から御見舞い申し上げます。

多くの町民の方から、支援するために飲料水などの救済物資の提供、多額の義援金を頂き、改めてお礼を申し上げます。

私たちの地域も、東南海・南海地震の発生が懸念され、明日は我が身となります。今回の「東日本大震災」を契機とし、これまでの計画等を見直し、早急に「人命第一」を目標に積極的に取組んでいきます。

住民の皆様には、「自分の命は、自分で守る」という意識を持って避難行動をとって頂くためにも、まず「自助・共助」の中で生き延びるといふ強い意志を持って、2〜3日分の非常食や飲料水確保など皆様方の御協力と御理解をお願いしたいと考えています。それ以降は、町・県・国が全力で救助救援に取り組みます。

現在、町内には一時避難所は73箇所あり、この内43箇所は海拔16m以上となっております。

また、避難道路についても、まだまだ狭いところが多く、改善改良を踏まえ「避難場所・避難道路・避難経路」については、より高い場所を確保し整備する必要があります。

再度検討し取組んでいきます。

今後、当町の「地域防災計画」においても中央防災会議や県の状況を踏まえ、町内各地区において見直した結果を早急にまとめ、より良い計画にし、かけがえの無い命を守るための施策を展開していきます。

原子力発電ゼロを目指せ

エネルギー施策の注視



川出 純 議員

問 3月11日の東日本大震災では、自然災害だけではなく原子力発電所も大きな問題になった。原子力発電から自然エネルギーへの転換が求められている。

町内でも、日高町に原発が来なくて良かったという声を聞きます。

私は、原発反対の立場であります。町長の認識をお聞かせください。

答

(町長) 福島原子力発電の危機的状況については、放射性物質の拡散による住民への健康被害や土壌汚染など大変な事態であると認識しています。

原子力を含むエネルギー政策は、国の所轄事項です。

電力の安定的・長期的に供給されることは重要であり政策議論を注視しています。



津波予想図を示してほしい

検討・協議中



由良 守生 議員

問 東北地方では、避難所へ避難したばかりに、その避難所が津波に襲われて、たくさんの方が亡くなりました。巨大津波は想定されていませんでした。

由良町では、来ると予想される大津波に対して、「ここまで逃げろ!!」という地図を作って示してほしい。

もはや想定外などはない、あるいは想定外を想定する必要があります。

答

(町長) 津波ハザードマップは、平成18年に作成して配布しています。

現在、避難場所、避難経路等の見直しについて、各地区において検討・協議中です。

現在想定されている由良町域での最大波高は5.3mです。

より高い場所へ緊急避難する場合があります。考えています。



答

(他の質問)

◎狩猟講習会に参加して積極的な獣害対策を

防災対策は大丈夫か?

高台への避難を!!



山名 実 議員

問 東日本大震災から3ヶ月が過ぎました。警報が出ていなくてもかわらず避難している人が少なかつ

たが、今後の町民への指導はどうしていくのか?

また、水門の開閉に関しては、どのように吹井水門を新しくする計画はいつごろになるのか?

答

(町長) 津波警報が発令された場合、全国瞬時警報システムにより自動的に防災行政無線で一斉放送されます。

また、大津波警報が発令されれば、避難指導を発令し高台への避難を呼びかけます。

水門については、電動化を基本とし停電時でも自動的に閉じることができるよう、おおむね設計は完了しています。

しかし、まだ本年度の予算化には至っており、点検結果を踏まえて県において順次事業化する方向です。



般

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は7名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

保育所の運営について

職員の環境整備



中村 森 議員

問

現在、由良町の保育所では、臨時保育士が半数を占めています。行政改革で人件費の抑制はよく理解できますが、正規職員と臨時とでは余りにも賃金に格差があり是正をお願いしたい。

人材の確保をしやすくして、土曜日保育の完全実施や延長保育等を是非お願いしたい。

また、特にお願いしたいのは、集団生活の中で「自分がされたら嫌な事は、お友達には絶対しない。」この事を理屈抜きで習慣づけて、小学校へ送り出して戴きたい。

答

(町長) 臨時保育士の賃金については、平成20年度で時給840円でしたが、本年度からは930円に増額しています。その間、夏、冬の一時金や担任手当についても増額し、これにより県下の臨時保育士賃金の平均以上になっています。

また、土曜日の1日保育は現在、毎月第3土曜日のみ実施していますが、基本的には親子のふれあいを深め、兄弟や地域の子供達とも交流できる日として、家庭保育が可能な子供については登園をご遠慮いただいております。

延長保育や0歳児保育等の拡大実施は、今後の保育所統合に向けての同時課題として、検討していきたいと考えています。



地域防災計画の見直し及び避難場所について

より良い計画にします



吉田 ひとみ 議員

問

地域防災計画の見直し案はいつ提出されるのか?

横浜地区の場合、旧由良地区やAコープでの買い物が集まって来る場所でもありません。

特に由良小学校の裏山への避難路と避難場所を確保して頂ければ山道を通り、江ノ駒・里・門前地区への避難も出来ると思いますが執行部のお考えは?



答

(町長) 当町の地域防災計画において、中央防災会議等の状況を踏まえ、より良い計画にしていきたい。

避難場所等の整備をという事であれば、町としてできるだけ住民の避難のための広場とか、あるいは条件が整ったところについても、やっていきたいと考えています。

「コミュニティバスの利用促進を」

8月に住民アンケートを実施



玉置 一郎 議員

問

4月11日に、畑・中・門前区のコミュニティバスの試験運行が実施され2ヶ月が経ちました。「乗客数

の推移」や「発着停留所」「発着時間」「事前購入乗車券方式」などについて、乗客の皆様・区民・乗車券を販売して頂いている区長のご意見をお聞かせ下さい。

また、より積極的な利用促進するためにも、オンデマンド方式で運行している「コミュニティバス」の事例もあるので、今後の検討課題も含め答弁を。

答

(町長) 利用者からは「便利で助かる」との声を頂いています。ただ、利用者数では当初1ヶ月間は22名、次の1ヶ月間は69名と高齢者の交通手段として浸透しつつあるのかなという感じを得ていますが、まだまだ当初想定したような利用には至っていないのが現状です。

畑・中区長から、中学生の通学バスとして利用できないのかとご意見を頂いています。現在、教育委員会と協議をしています。本町の方式とオンデマンド方式の大きな違いは、予約の有無です。デマンドとは日本語で「需要・要求」という意味でデマンド方式では、一般的に前日まで予約が必要で、予約が無ければ運行されません。また、国からバス会社への許可が必要になるため導入決定から数ヶ月間を要します。

今後8月を目途に住民アンケート実施し、デマンド方式実施の有無や運行時刻改正を含め、より利用して頂ける運行方式を検討していきます。



(他の質問)

◎廃屋を撤去できる「景観支障防止条例」について

平成23年度、一般会計補正予算

歳入・歳出470万円増額を議決

(中学校避難路設置工事など)

総額36億6270万円

国保条例の一部改正をする条例の専決処分ほか6件

問

収入が減っているのに、どうしてこれだけ国保税が上がるのか?

(答) (税務課長) この専決処分については、国民健康保険法施行令の一部が改正されたことに準じて、限度額50万円を51万円に、後期高齢者支援金10万円を12万円に、介護納付金については10万円を12万円に引き上げるものです。

専決処分とは

議会の権限に属する事項について、町長が議会に代わって意志決定をする。専決処分をすれば、議会が議決したのと全く同じ法律效力があります。

●議会が成立しない時や議会が解散したり、議員が総辞職して議会が全く存在しない場合。

●町長が議会を招集する時間的余裕が無いと認める時。議案が急を要するため、議会を招集して議決を経てから執行しては時期を失すると町長が認めた場合。

「町道の路線認定と廃止について」

「由良町義務教育施設整備基金の一部を改正する条例」

問

この基金は、社会教育にも使えると、いいことか?

答

(答) (参事) 学校関係の新築及び大規模改修等の基金という事で設置していたが、寄付をされた和歌山市の故木下氏から学力の向上にということ積み立てた基金です。

今のところ義務教育関係だけです。



繰越明許費繰越計算書について報告3件

総務文教常任委員会視察

“授業中”

学校訪問

“おじやまします”



“学校の様子は?”

“できてる?”



企業訪問(環境月間)



駒井ハルテック



MES由良



ポリテック

仁坂県知事へ陳情



産建厚生常任委員会視察



保育所視察



町単工事視察



植樹祭

“キノピーといっしょ!!”

“はやく大きくなあれ”



つれもていこら!

「ママホームイン教室」



みなさん、レクリエーション教室はご存知ですか? 毎年、町内のこども会育成連絡会が、年間行事として教室を開催しています。このレクリエーション教室は、『ゆうRECでベその会』指導のもと『じゃんけんゲーム』や『新聞紙ファッシュションショー』などで大いに盛り上がり、親子のスキンシップ満点でした。年に何回かの催しがあるそう

です。
親子でつれもていこら!!
●詳しい問い合わせは「教育委員会」
TEL 65-1800まで



編集後記

各企業の皆様方には大変お忙しい中、訪問させて頂きありがとうございました。

梅雨時の蒸し暑い中、現場で働いている方々は大変だと感じます。

今年は「節電」と言われていますが、働いている方達には「節電」は要らないのでは? と思いました。

夏は、熱中症にご注意を。
(ひ)

議会広報編集委員会

委員長 神田 勉
副委員長 吉田ひとみ

委員 山名 守生
中村 森 実
馬場 博文
玉置 一郎